

千葉四十雀35周年にあたり

平成16,17年 五十代監督 馬場 博

千葉四十雀35周年おめでとうございます。私が四十雀クラブに入ったのは、ちょうど40歳の時でした。山口(紘)さん、山下さんらと酒を飲む機会があり、その席でクラブの存在を知りました。初めて試合をしたのは、千葉競輪場芝面で、芝が厚く、ピッチが若干、隆起していたのを思い出します。あの時のメンバー全員を思い出せませんが、ゲームしていて動きが多く、コンパスを有効利用しているなど知った選手は鍋島先生。話のピッチ(切れが良いと言うのかな?)と体の動き、技の切れがある選手だなど知ったのが、つきば(?)先生と、「先生方、これから宜しくおねがいします!」という感じでした。直ぐ、関東大会があると聞き、山口さん、山下さんらと一緒にいったのは知っていますが、何処だったのかは記憶に御座いません。山梨だったのかな?初得点したはたけれど、その時だったのでしょうか?と今のように選手が沢山居なかったように思います。

それからは、こんなクラブが有るなら身の回りの人に知らせて、入ってもらおうと 宣教師になり佐藤利美、菊池兄弟、私の兄らに「アーメン、ソーメン」と言わせて今日に至っております。

このクラブのお陰で、全国スポレク全国シニア大会等に参加させて戴きました。記憶に新しいのは、日韓Wカップ翌年の全国シニア会関東予選。カメルーンの練習会場でのすばらしいピッチで全国大会出場のキップを獲得した時は嬉しかったですね。厳しい試合でしたが、境選手の先取点で一回戦突破!これに調子が出て、決勝 神奈川県戦では始めは苦戦しましたが勝利、といろいろ思い出が有りました。

この2年間は五十代チームの監督を受け、活動させて戴きましたが、最初の活動としては選手の集まらない試合は、相手に失礼と考え、選手連絡網を作成する事を井上マネージャーへ依頼したのが第一歩でした。試合を楽しく、参加者全員が出場し 最後は勝利を得るをモットーに踏み込んだが、参加者多勢でメンバーを決めるのが 嬉しい悲鳴でした。

只、この2年間は全国大会予選で決勝において、神奈川に2度惨敗とメンバーが揃っていてもチームの組み立て、そしてムードの盛り上げ等は中々、難しい事を痛感した。

今後、この経験を活かし、監督の立場、選手の気持ちを繋げるようアドバイスをしたいと思います。

最後に、地元での全国スポレク(INTONO)に遠野OB更には東北出身を中心に選抜して戴き、厳しく、楽しく、そしてその結果によるブロック優勝と、過去に勝るとも劣らない経験をさせて頂き、大変、有難うございました。

千葉四十雀クラブよ永遠なれ!



05年度 忘年会より



03年 シニアリーグにて